

南砺市

TOYAMA

03

富山県

休み時間に生徒が
集まる人気のトイレ

「井波中学校の体育館は建設から20年以上経過し、老朽化も見られたため、吊り天井の耐震対策を含む大規模改修を行いました」と語るのは、市教育委員会教育総務課の嶋田良太主事。

トイレなどの水まわりに関しては、災害時の避難所に指定され、かつ、地域開放もしていることから、それまでなかった多機能トイレの新設、バリアフリー化、和式便器の洋式化、床の乾式化のほか、暗いトイレを明るくすることを目指しました。

これらの目的をクリアしながらも、随所には細やかな配慮が施されています。

例えば、多機能トイレは意匠性にも考慮し、新洗浄方式の大

体育館改修に合わせて
多機能トイレを新設。
意匠を凝らし愛着あるトイレに

便器を採用することで、大便器と手洗器のライニングの高さが揃えられています。床材は維持管理コストの面から、ノンワックスタイプに。

女子トイレは、ブースと洗面台が向き合った位置関係にあるため、「トイレから出てきた人の姿が映り込まないように」との配慮から、細めの鏡を選んでいます。

壁は全面的にメンテナンスのしやすい化粧パネルを採用。白を基調とし、随所にインパクトのある色を取り入れています。

井波彫刻の町を意識し、木製の目隠しスクリーンには「座彫り」や「くり抜き加工」が施されています。

設計を担当した鈴木一級建築士事務所の寺岡裕子さんは、「県産材の持つ温かさと目を引く色彩などによって、皆さんに愛着

を持つていただける建物になればうれしいです」と語ります。

その思いは届き、完成した体育館のトイレは、休み時間になると、わざわざ普通教室から訪れる生徒もいるほど、人気を集めているそうです。

嶋田主事は、「これから地域開放が始まるので、一人でも多くの地域の方々に気持ちよく利用してもらいたい」と笑顔で答えてくれました。

アプローチにスロープを設置。エントランスにあった15cmの段差は底上げをして解消。



壁には県産の杉を使用。トイレとの仕切りは天井部を広く開けて、開放感のあるつくり。

女子トイレ内の洗面台前には木製ベンチを設置。荷物を置いたり腰かけたりできる。



汚れが目立つ改修前。校舎も改修予定だが、天井の落下防止対策のため体育館から着手。

改修後は華やかな紅ウコン色の外観に。正面のガラスには、飛散防止のためのフィルムが貼られた。



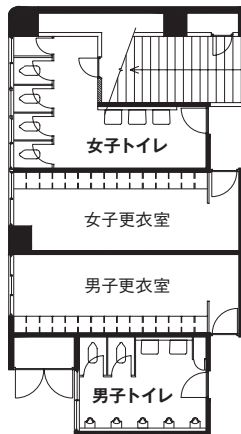
南砺市立井波中学校

壁掛け式の自動
洗浄小便器を採用。
床全体は乾
式清掃方式に。



体育館
トイレ

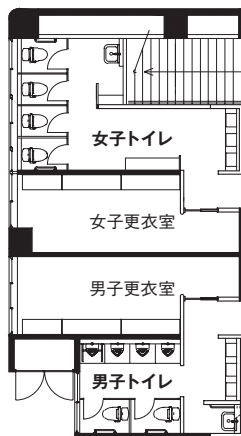
～ 改修前 ～



女子トイレの洗面台はブース正面にあるため、あえて鏡を細く20cm幅に。



～ 改修後 ～



基本的な位置は変えず、男女ともにトイレの入口を廊下側まで延ばして広くした。女子トイレの階段下にはオープンな掃除用具置き場を設置。



大便器は掃除口付きを採用。開口部を広げることにはできないため、床や壁に白を多用することで明るさを確保。



多機能トイレのドアはわかりやすい色に。中の様子がそれとなく感じられるよう円形部分はすりガラスを採用。

多機能トイレはラインングの高さが統一されてスッキリ。操作性がよく、電池不要のエコリモコンで、温水洗浄便座も利用可能。

DATA

- 竣工年月 / 2015年2月
- 所在地 / 富山県南砺市 井波700番地1
- 生徒数 / 212名(2015年)
- 設計 / 鈴木一級建築士事務所
- 施工 / 辻建設、北川電機商会、ヤマキ工業